

編集・発行
社会福祉法人
阪神共同福祉会園田苑
広報
〒661-0972
尼崎市小中島 1-1-18
Tel:06-6493-3731

私たちの目指すもの

- 一、地域に開かれた施設
- 二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
- 三、老人と共に生きがいを見い出す生活を！

社会福祉法人阪神共同福祉会園田苑



『野土香』利用者の減少を嘆いた包括職員たちが、企画した「干支づくり」1月15日（金）お昼すぎから始まりました。

ボランティア2名による指導の『見猿、言わ猿、聞か猿』作り。

かわいいお猿たちを「玄関に飾るわ」「意外と簡単」と評判も上々。

さあ、地域の皆さんに使っていただける『野土香』を目指して、新企画も目白押し。

昔のことを思い出し、今年は職員を探しに行こう

理事長 中村 大蔵

「園田苑に就職したい！」という声を久しぶりに耳にした。2月早々のこと、大学3年生の女性からである。続いて「本当に就職してもいいんですか？」とまで言われると、「介護現場は、選んでいる余裕なんてないよ」とつい返してしまった。

介護現場の人材不足は今や超慢性的である。介護現場のみならず園田苑と姉妹施設の保育部門も深刻である。ついに人材派遣業者に手を出さざるを得なくなった。紹介料だってハンパじゃない。「ああ～もったいない」とため息が出る。

かつて園田苑の新卒者募集には列をなす（笑）時代もあった。昨年秋頃から昔のことを思い出し、人材求めてあちらこちらに手を出す、否、足を向けるようにしている。福祉系の学生の集まりがあると聞けば出かけ、長らく音信不通だった教員たちにも、非礼を顧みず会いに行っている。お呼びじゃない雰囲気の場合にも押しかけている。

ある集まりでは、話し終わった後に、女子大生がわざわざやって来て「とても感動した」と握手を求められた。照れくさかったが、彼女がまだ2年生だと聞いて、「これは今から狙っておこう」と下心丸出しの対応をしてしまった。今年は人材求めて東へ西へと走ろう。



毎年年末の恒例行事のしめ縄作り。今年もボランティアグループ「園」の徳田さんを先生に、若手古株混じってわら相手に奮闘しました！！

出来上がった立派なしめ縄は玄関で園田苑の正月を見守ってくれました。



関西国際大学の児童文化研究会の皆さんがクリスマスのハンドベル演奏会、聖パウロ女子修道会の皆さんが絵本の朗読に来てくださり、園田苑のクリスマスムードを盛り上げて下さいました。



こちら年末恒例のもちつき大会。元気な利用者さんにも協力してもらって今年もおいしい餅（よもぎ、芋もち）は好評でした！）をたくさん搗くことが出来ました。ご協力ありがとうございました。



今年も飛びますカウントダウン



園田苑の年越し行事

大晦日の夜、年越し行事に参加のため 11 時の 10 分前に苑に着きました。夜勤中の山根さんから、「仲山さんまだ早いよ～」と声が掛かりましたので、ソファでテレビを見ながら休憩していました。準備のため大上さんと施設長がお出でになり準備に取り掛かりました。

食卓に花を飾り、お酒、ビール、ジュースや職員さんの手作り料理が盛り沢山並べられました。

入居者も数人起きて来られ年越し行事に参加されました。大上さんの乾杯の合図で始まりました。

0時が近づくと全員でカウントダウンが始まりました。年越しの瞬間、皆さんのうれしそうな笑顔を私は頼もしく嬉しく拝見させて頂きました。

今年は、1 人になって初めての年越しで淋しい年越しになるかな？と置いていましたが、思いがけなく施設長からお声が掛かったお陰で楽しい年越しの会を皆さんと一緒に楽しみました。

入居者さんもデイサービスの仲間達も、今年 1 年元気に頑張っ、一度参加してみませんか？楽しい年越しでしたよ。企画していただいた皆さんご苦労様でした。今年も元気で参加しますので 1 年間よろしくお願いします。





園田苑のお正月

元旦は、皆さんお楽しみのおせち料理を午前 10 時から朝食と昼食を兼ねていただきます。食卓いっぱいにおせち料理が並んでいてとても豪華な食事会でした。縁起物の大きな鯛があり、帆立貝もありました。

理事長の新年の挨拶があり、その後入居者の遠藤さんの乾杯の音頭で食事が始まりました。大きな鯛を大上さんが手際良く取り分けて配って下さいました。お雑煮も鯛も帆立貝もとても美味しかったです。来年のお節を楽しみにして入居者もデイ利用者も元気でまた次のお正月を迎えましょうね。

苑のお正月の会が終わるころ、施設長がセンターデイのお節の会も誘ってくれました。もちろん断る理由もない。施設長と一緒に行きました。入り口を入ると顔見知りの職員が沢山いて喜んで迎えてくれました。食卓には、これまた正月のご馳走がいっぱい並んでいました。

こちらは長老の乾杯の音頭でお節の会が始まりました。お雑煮や赤飯を苑で食べたけど、ここでもお雑煮と赤飯などを少々食べました。私は「所変われば入るものですねー」と独り言を呟きながら食べていました。施設長は苑でも食べたのに大丈夫かな？と言いたげな顔で私を見ていました(笑)

皆さん本年もよろしくお願いいたします。センターの利用者さん、苑のデイにも遊びにきてね。愉快的仲間たちがお待ちしています。職員も沢山のゲームを用意してくれますよ。お待ちしております。

園田苑デイサービス利用者より。



初詣に行ってきました

苑の初詣にも参加しました。川口さんの車を先頭に 3 台に分乗して近松公園の近くの伊佐具神社に到着しました。近くまで車で行くことが出来たので、そこで皆さん新年の願い事をしました。

皆さんの健康と、この一年が良い年でありますよう。また、元気で来年も新年を迎えられますよう、お祈りいたします。

今回の紙面は、現在はデイサービスご利用で、奥様が元入居者の男性がご自宅のパソコンで作成された新聞を基に作らせていただきました。『デイサービス利用者(男性)が一人暮らしになって、初めての苑での年越し行事やお正月行事に参加して体感した。感想や思ったまを記事にして作成しました。

(原文まま)』ありがとうございました。

おせちの会 平成28年1月3日(日)



2016年1月3日、認知症対応型デイサービスのフロアにて、おせちの会がありました。

就職して2年半、「毎年1月3日におせちの会が開催され、自宅でお正月気分が味わえない地域のご利用者様にお声掛けし、皆で楽しく正月を迎える」ということは伺っていましたが、参加する機会がありませんでした。今年もお休みをいただいていたのですが、興味もあり是非参加したいと参加させてもらいました。少し遅れて行ったときには(正月早々すいません笑)、既に豪華な食事が並んでいました。お正月らしいおせち料理から、おめでたいおはぎ(施設長手作り)、和洋折衷韓国料理まで、利用者様もとても美味しいと喜ばれていました。僕はというと、母に甘えてだし巻きを作ってもらいました。

しばしの歓談後、利用者様と参加職員全員で30名を超える皆が自己紹介と今年の抱負を一言ずつ話しました。僕が1番心に響いたのが私達のデイサービスに来られている仲山石登さんの言葉です。「ホームヘルプ、デイサービス、特養でのお食事と毎日を園田苑に支えてもらい、特にホームヘルパーさんの作るカレーは人によって味も違うし、毎回わくわくしています。園田苑がなければ僕は生きていけないと言っても過言ではない。今の自分があるのは園田苑さんのおかげです。」と言って頂き、とても感動しました。僕も仲山さんの気持ちに伝えられる仕事がしたいなと思いました。

食事が落ち着くと、利用者様と職員が赤・白に分かれてチーム対抗戦のゲームをしました。お椀積み競争したり、顔に洗濯バサミをつけたり、皆大爆笑で大盛り上がりでした。皆さんにも楽しい時間が提供でき、自分自身も楽しく良い経験ができました。

併設通所介護ヘルパー 村越 拓馬

戸ノ内『野土香』 男会

毎週水曜日午後から野土香を男性の皆さんに開放します。

将棋や囲碁をしたい方お誘いあわせの上ご利用下さい。

何もせず、テレビを見るだけでも、お話しにくだだけでもOK

2/24(水) 午後1時~3時

映画「男はつらいよ」第1作を大画面のプロジェクターにて上映します。男の辛さについて語りましょう。

映画の後には、茶話会(参加費200円)をします。

皆様のご参加お待ちしております。

宅老所 野土香 住所: 尼崎市戸ノ内町3丁目6-46

男会担当(地域包括) 電話: 06-6494-8087

編集後記

信じるのが辛いとき

あなたの声を背にただ生きてきた

こころの悩みはつきないけど

あなたの笑顔でわたしは救われる

(酒浴女)

スロースターターでなかなか物事に
取り組めない性格をなんとかしたいと
思いながら早十何年。

大きく深呼吸して、一区切りつける

癖をつけた。

(きりん)

この三年、目の前の解決しないとい
けないことを解決できなかったのはし
んどいけれどお互い無理を言える関係
を築けてこれなかった自分の弱々。

まずはうちの一五歳をなんとかしよ
う。

(きんたろう)

去年は、足踏みしてしまった感が強
い。

今年は、その分を取り戻しながらも、
自分らしさや園田苑らしさにこだわっ
ていきたいと思う。

(野の花)

